

## 「                    独自の安全活動」

「危険さっち活動」：2002年1月より                    独自の安全活動として、KYT4ラウンド法を取り入れた危険予知活動をスタートしました。この活動は、自分達で考案した写真付ポスターを作業場に掲示し、作業者の危険共有化と若い方への安全継承を図るため、ライン単位での作業前ミーティングに活用しています。

又、ヒヤリ・災害が発生したら、危険さっちポスターを作製し災害を忘れないよう掲示し危険の見える化を行っています。



# 「独自の安全活動」

## 危険さっち活動

2010年11月26日

シート No. HA-005 作業名 ユニット横のトラック積み込み作業 活動期間 2010年 11/23~12/3

**第1ラウンド (どんな危険が潜んでいるか！)**  
 潜在危険を発見・予知し危険要因(状態と行動)とそれによって引き起こされる現象を(事故の型)を想定する 5~6項目  
 危険要因(状態と行動)と現象(事故の型)を想定して 「～なので～して～になる」

1) 運転手と共同で玉掛け中、クレーン操作者が確認せずに巻上車を押し込んだので、ワイヤが絞られて吊钩とワイヤの間に運転手の指が挟まれる。  
 2) 荷台の上にいる運転手に運搬の指示をせずクレーンの荷積み作業を行ったので、吊钩が大きく振れた後、運転手と吊钩が接触し転倒する。  
 3) 荷降ろし時、荷台上にいた作業者が吊钩の振れを止めようとして、手で支えたとき、大きく振られてトラック荷台より落下する。  
 4) 荷台上で吊钩の微調整を行っている時に、クレーンが大きく揺れたので、進行方向側で支えていた運転手が吊钩に押し倒れる。  
 5) 運転手が荷台上で吊钩の着地位置を決めようとして、振れている吊钩を押した弾みで吊钩が横きつた拍子に転倒する。  
 6) フォークリフトで荷台に積み込み直前、前方に勢いよく前進し押し込んだので、前にいた運転手がユニットに押し倒れる。

**第2ラウンド (これが危険のポイントだ！)** 1)~6) から1項目  
 危険要因をさらに絞り込んで特に重要と思われる危険のポイントを記入

4) 荷台上で吊钩の微調整を行っている時に、クレーンが大きく揺れたので、進行方向側で支えていた運転手が吊钩に押し倒れる。

**第3ラウンド (あなたならどうする！)** 2~3項目  
 危険のポイントを解決するための具体的で実行可能な対策を考える

1-6のNo.	※印	具体的で実行可能な対策
4)		1) 運転手はトラックより退避させ補助作業はさせない
	※	2) 吊钩は手を添えず手鉤を使用して振れを止める。
	※	3) 荷台上で微調整を行なう際は進行方向に作業者を立たせない。

**第4ラウンド (私達はこうする！)** 1項目  
 上記重点項目を絞り込み※印を付ける ※印は1項目  
 さらにそれを実践するためのチーム行動目標を設定する

チーム行動目標 (～するときは～して～しよう！よし！)  
 製品出荷のトラック荷積み作業では、運転手をトラックから退避させ、振れ止めは手鉤をしよう！ヨシ！

指差呼称項目 (～よし！) 1項目  
 タッチ作業は手鉤でヨシ！

安全人間の生産活動 『育てる安全・つくる健康 一人ひとりの意識から！』

## 危険さっち活動

2008年3月28日

シート No. H6-001 作業名 運搬台車による積物運搬作業 活動期間 2007/1/17~2008/3/31

**第1ラウンド (どんな危険が潜んでいるか！)**  
 潜在危険を発見・予知し危険要因(状態と行動)とそれによって引き起こされる現象を(事故の型)を想定する 5~6項目  
 危険要因(状態と行動)と現象(事故の型)を想定して 「～なので～して～になる」

1) 運搬台車で積物を運搬している時、道路中に台車が倒れ、積台上的の積物が滑って転落し、荷台から転落して歩行者の足に当たり怪我をさせる。  
 2) 運搬台車で積物を運搬している時、積台上的の積物が滑って落ちた後、手で荷台の中央に支えようとして鉄板が滑り落ちて怪我をさせる。  
 3) 運搬台車で積物を運搬している時、積台上的の積物が滑って落ちた後、手で荷台の中央に支えようとして鉄板が滑り落ちて怪我をさせる。  
 4) 運搬台車で積物を運搬している時、積台上的の積物が滑って落ちた後、手で荷台の中央に支えようとして鉄板が滑り落ちて怪我をさせる。  
 5) 運搬台車で積物を運搬している時、積台上的の積物が滑って落ちた後、手で荷台の中央に支えようとして鉄板が滑り落ちて怪我をさせる。  
 6) 運搬台車で積物を運搬している時、積台上的の積物が滑って落ちた後、手で荷台の中央に支えようとして鉄板が滑り落ちて怪我をさせる。

**第2ラウンド (これが危険のポイントだ！)** 1)~6) から1項目  
 危険要因をさらに絞り込んで特に重要と思われる危険のポイントを記入

2) 運搬台車上の積物が揺にずれて転落しうになり、慌てて支えようとして出した手を負傷する。

**第3ラウンド (あなたならどうする！)** 2~3項目  
 危険のポイントを解決するための具体的で実行可能な対策を考える

1-6のNo.	※印	具体的で実行可能な対策
2)	※	1) 台車上の重物には手を出さない事を全員に周知させる。
	※	2) 運搬台車に滑り防止のマットと転落防止柵を付ける。
	※	3) 荷台に滑り止めマットの無い運搬台車での積物運搬を禁止する。

**第4ラウンド (私達はこうする！)** 1項目  
 上記重点項目を絞り込み※印を付ける ※印は1項目  
 さらにそれを実践するためのチーム行動目標を設定する

チーム行動目標 (～するときは～して～しよう！よし！)  
 台車で積物を運搬する時は、積物運搬専用台車を使用しよう。よし！

指差呼称項目 (～よし！) 1項目  
 積物の安定よし！ 積物の転落防止よし！

安全人間の生産活動 『育てる安全・つくる健康 一人ひとりの意識から！』

## 危険さっち活動

2008年6月2日

シート No. HB-003 作業名 小物部品格納作業 活動期間 4月1日~5月30日

**第1ラウンド (どんな危険が潜んでいるか！)**  
 潜在危険を発見・予知し危険要因(状態と行動)とそれによって引き起こされる現象を(事故の型)を想定する 5~6項目  
 危険要因(状態と行動)と現象(事故の型)を想定して 「～なので～して～になる」

1) バランスの悪い積み方のため台車移動中、段差で部品が落下し足を負傷する。  
 2) 台車に高く積み過ぎたため見えにくいので、他の作業者と接触し負傷する。  
 3) 中置ポールの扉を開いたため、格納中に落下し足を負傷する。  
 4) 部品棚は部品で溢れ出し視界が悪いので、前の方でしゃがみこんで箱に格納している者に気づかず、出庫時に接触される。  
 5) 出庫時は台車を押しながら部品を探しているため、前方でしゃがみこんで箱に格納している者に気づかず、出庫時に接触される。  
 6) 部品棚の重量制限以上に積荷していたため、下段で格納している時、崩れて落下し足を負傷する。

**第2ラウンド (これが危険のポイントだ！)** 1)~6) から1項目  
 危険要因をさらに絞り込んで特に重要と思われる危険のポイントを記入

4) 部品棚は部品で溢れ出し視界が悪いので、部品棚から出るときフォークリフトに気づかず接触する。

**第3ラウンド (あなたならどうする！)** 2~3項目  
 危険のポイントを解決するための具体的で実行可能な対策を考える

1-6のNo.	※印	具体的で実行可能な対策
4)	※	1) 台車に部品を積みときは安定した積み方を要する
	※	2) 部品棚から出るときは朝の時から左右を確認する
	※	3) 必要以上に棚に格納しない

**第4ラウンド (私達はこうする！)** 1項目  
 上記重点項目を絞り込み※印を付ける ※印は1項目  
 さらにそれを実践するためのチーム行動目標を設定する

チーム行動目標 (～するときは～して～しよう！よし！)  
 棚から出るときは一旦止まり、左右を確認して道路に出よう！ヨシ！

指差呼称項目 (～よし！) 1項目  
 左右確認よし！

安全人間の生産活動 『育てる安全・つくる健康 一人ひとりの意識から！』

## 危険さっち活動

年月日 所属 部門 工場 製造室

シート No. 作業名 活動期間 ~

**第1ラウンド (どんな危険が潜んでいるか！)**  
 潜在危険を発見・予知し危険要因(状態と行動)とそれによって引き起こされる現象を(事故の型)を想定する 5~6項目  
 危険要因(状態と行動)と現象(事故の型)を想定して 「～なので～して～になる」

1) 2) 3) 4) 5) 6)

**第2ラウンド (これが危険のポイントだ！)** 1)~6) から1項目  
 危険要因をさらに絞り込んで特に重要と思われる危険のポイントを記入

5) 6)

**第3ラウンド (あなたならどうする！)** 2~3項目  
 危険のポイントを解決するための具体的で実行可能な対策を考える

1-6のNo.	※印	具体的で実行可能な対策
1)		
2)	※	
3)		

**第4ラウンド (私達はこうする！)** 1項目  
 上記重点項目を絞り込み※印を付ける ※印は1項目  
 さらにそれを実践するためのチーム行動目標を設定する

チーム行動目標 (～するときは～して～しよう！よし！)

指差呼称項目 (～よし！) 1項目

安全人間の育成活動 『全員参加』で「声掛け合って」育む安全・健康意識！